



竹林の風

職員研修の充実をサポートいたします ～問題行動等未然防止プログラム事業～

児童生徒指導における校内研修を充実させるために外部講師を呼びたいけれど、旅費や謝金なんて学校予算にはないし…という場合には、ぜひ本事業を御活用ください。

条件は教職員対象の研修であることです。

講師謝金として、県の基準に沿った金額が支払われます。また、派遣にかかる旅費（相当額）が支払われます。

今年度も右記のように、管内の多くの学校で活用いただいております。

次年度の校内研修計画を作成の際には、本事業を活用した研修を組んでいただき、学校の児童生徒指導の充実にお役立てください。

※ 御不明な点はお気軽にお問い合わせください。

(河内教育事務所学校支援課：028-626-3184)

平成25年度の事業実績

月	学校	講師	内容
6月	小学校	県センター職員	不登校対策
6月	中学校	有識者	薬物乱用防止
7月	小学校	県センター職員	Q-Uの分析と活用
7月	小学校	臨床心理士	Q-Uの分析と活用
7月	小学校	大学准教授	学級づくりと人間関係づくり
8月	中学校	県外教育研究所所員	Q-Uの分析と活用
1月 (予定)	小学校	大学准教授	居心地のよい学級づくり

ふれあいキャンプが行われました 11月6日～8日：芳賀青年の家

11月6日から8日までの2泊3日、益子町にある『芳賀青年の家』で実施されました。今年度からは全県一斉の開催となり、県内各地から40名あまりの児童生徒が参加しました。

はじめに仲間作りで簡単なエクササイズを行うと、緊張していた表情が次第に和らいでいきました。手びねりによる陶器の制作や自然の木材を使用した木工クラフトでは、時間いっぱいまで制作活動に没頭し、個性豊かで素晴らしい作品ができあがりました。

益子の町の散策、ピザやカレーライスづくりでは、グループのメンバーと協力して、自分の役割を果たしながら積極的に活動する姿が見られました。また、ボランティアとして参加していただいた学悠館高校の生徒のお手伝いもあって、大変充実した3日間となりました。

この3日間で見つけた自分の可能性を、生活の中での自信として生かすことができるよう願っています。

※本事業は次年度も実施予定ですので、当該児童生徒への参加呼びかけをお願いいたします。



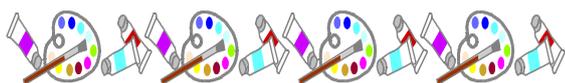
体罰の根絶を目指して ～研修用の資料を作成しました～

～体罰は絶対にいけない！！～

体罰等防止のためのチェックシート【体罰防止研修資料（県教委発行H25.9）より抜粋】

県教育委員会では体罰を未然に防ぐとともに、早期に発見し対応するために、研修資料を作成し、各小中学校にデータで配布させていただきました。

今回の資料では、「調査からの傾向分析」「体罰を未然に防ぐための方策」「起きてしまった時の対応」について、過去の事例も参考にしながらまとめました。それぞれの実情に合わせて、御活用いただき、体罰の根絶に努めていただきたいと思います。



【体罰防止研修資料の内容】

- 1 体罰とは
- 2 運動部活動の指導について
- 3 本県における体罰に係る実態把握の調査について
- 4 体罰の未然防止と組織的な対応について
- 5 校種別・場面別事例とその活用について
(小学校・中学校など)
- 6 体罰を起こした教職員の責任と懲戒処分による影響
- 7 学校と保護者や地域との適切な関係づくりのために

いじめのない学校づくりのために ～生徒指導リーフ増刊号～

「生徒指導リーフ」とは、国立教育政策研究所が発行している生徒指導関係の情報冊子です。今回、「いじめ防止対策推進法」の成立を受けて、学校の取り組むべきことをわかりやすく解説したものが「増刊号」として発行されました。学校は「基本方針の策定」と、「いじめ未然防止のための取組」「いじめ防止等のための組織の設置」が義務づけられていますが、何を、どのような考え方で行っていけばよいのかについて、具体的にわかりやすく書かれています。

下記のURLからダウンロード可能です。学校におけるいじめ対策の取組のヒントや教職員間の共通理解の資料として、ぜひ御活用ください。

なお、過去の生徒指導リーフ（vol.12まで発行）も、テーマに沿ってコンパクトに、わかりやすくまとめられていますので、あわせて御確認ください。

「生徒指導リーフ増刊号」ダウンロードURL

<http://www.nier.go.jp/shido/leaf/index.html>



☆*:° 掲示しやすいようにA4サイズ片面印刷2枚に変更いたしました ★*:°

📧 本紙についてのご意見ご感想をお待ちしております E-Mail kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp